

## 甲状腺検査における学校での検査の現状調査結果について

令和3年1月15日  
福島県県民健康調査課

### 1 実施方法等

#### (1) 実施時期

令和2年9月～12月

#### (2) 実施方法

県民健康調査課員が学校を訪問し、学校担当者から聞き取りを行うとともに、一部の学校においては、検査現場を視察した。

#### (3) 調査を実施した学校数

合計 26 校(うち3校では検査現場の視察も併せて実施)

○種 別: 小学校 12 校、中学校9校、高校4校、義務教育学校1校

○方 部: 避難区域等 13 市町村 11 校、中通り 8校、浜通り 4校、会津 3校

○規 模: 大規模校(1学年3クラス以上) 8校、中規模校(1学年2クラス程度) 4校、  
小規模校(1学年1クラス以下) 14校

○検査実施時期: 今年度 17 校、昨年度 9校

#### (4) 聞き取りを行った相手

学校での検査を担当している方による対応を学校にお願いし、各学校の教頭、養護教諭等の両者あるいはどちらか一方から聞き取りを行った。

### 2 確認結果

#### (1) 検査現場の視察結果

##### ア 検査の流れ

- ① 授業担当教諭もしくは養護教諭が受診者を会場へ案内(検査の非対象者及び不同意者については会場へ案内する学校が1校、教室に残っている学校が2校だった)
- ② 会場で検査スタッフが受診者に対し検査の受け方について説明
- ③ 引率した授業担当教諭は教室へ戻り、受診者は会場で待機
- ④ 受診する受診者を検査スタッフが検査ブースへ案内
- ⑤ 受診後、受診者は各自教室へ戻る

##### イ 生徒の様子

説明を受ける時、受診待ち、受診の際いずれも落ち着いており、検査スタッフもしくは学校教諭の指示に従っていた。

##### ウ コロナウイルス感染症拡大防止対策

- ・ 会場では窓を開けるとともに、送風機を使用し換気を行う
- ・ 検査ブース内においては、検査者と受診者の間に透明なカーテンを設置
- ・ 利用した設備(椅子等)のアルコール消毒
- ・ 枕カバーは受診者ごとに交換する

(2) 学校からの聞き取り結果

ア 学校が行っている業務

(ア) 検査実施前

- ・ 日程調整(学校内部の行事等の調整)
- ・ 在籍者のデータ確認及び医大への提供
- ・ 同意確認書の提出依頼(学校から文書を生徒へ配布)
- ・ 医大(検査スタッフ)との打ち合わせ
- ・ 学校内での教職員への周知

(イ) 検査実施中

- ・ 教室から会場への引率
- ・ 受診者へ検査用紙を配布(検査スタッフが配布する場合もあり)

(ウ) 検査実施後

- ・ 欠席等により当日受診できなかった検査対象者へ検査案内文書の配布
- ・ 対象者全員への検査のチラシの配布

※ 多くの学校で検査に伴う業務に対して負担感を持っていたが、大規模校における負担感が大きかった。

イ 検査の時間は学校の何の時間(授業)をあてているのか。

- ・ 多くの学校は通常の授業中に実施していたが、一部の学校は行事の時間に実施していた。
- ・ 多くの学校で放課後に検査を行うことは生徒の通学(スクールバス等の利用)、部活、教員の勤務時間、さらに検査場所の確保の問題から難しいだろうと考えていた。

ウ 検査実施中、検査を受診しない方については、どのように対応することとしているのか

- ・ 多くの学校で受診しない方は教室に残っていた。
  - ・ 一部の学校では受診しない方も会場に連れて行き、受診しないことを確認してから教室へ戻らせていた。
  - ・ 全ての学校で受診しない方が受診者等に何か言われるような事例は把握していなかった
- ※ 受診しない方には不同意者だけでなく、県外からの転入等による検査の非対象者もいる。

エ 学校で実施することについて、対象者及び保護者はどのように受け止めていると思われるか。

- ・ 全ての学校で検査について保護者から特に意見はないため分からないと話があった。
- ・ 一部の学校からは、学校での検査が受診しやすいことから受診しようとする保護者がほとんどではないかとの話があった。
- ・ 一部の学校からは、保護者は10年近く実施していることや、2年に1回実施することから、検査が当たり前であると考えているのではないかと話があった。

オ 検査のお知らせ文が変更されたことについて、対象者及び保護者はどのように受け止めていると思われるか。

- ・ 今年度検査を実施したすべての学校から保護者から意見がないため分からないと話があった。
- ・ 一部の学校からは自分が受診するかどうか分かっていない対象者もいたとの話があった。